

## 用語解説

あ行

---

### 愛知目標

2010(平成22)年10月に愛知県名古屋市で開催された生物多様性条約第10回締約国会議で採択された、「生物多様性を保全するための戦略計画2011-2020」の中核をなす世界目標のこと。(9ページ参照)

### アスベスト(石綿)

天然に産する繊維状けい酸塩鉱物で、以前は保温断熱の目的で石綿の吹き付ける作業が行われていたが、1975(昭和50)年に原則禁止された。現在では、製造等も禁止されている。

飛び散ること、吸い込むことで健康に影響を与えるため、労働安全衛生法や大気汚染防止法などで予防や飛散防止等が図られている。

### あだち環境ゼミナール

区が実施する環境学習講座。高校生以上を対象に、月に一度、環境に関する様々なテーマについて学ぶ講座。年間出席数と修了レポートで要件を満たした者は、「あだち環境マイスター」に認定される。

### 足立区総合交通計画

2011年(平成23)年12月に策定されたきめ細かな交通サービスの実現を目指す計画。概ね20年後の社会の進展を見据え、環境やユニバーサルデザイン、交通弱者などの視点に立ち、施策体系別の整備方針を定めている。

### あだち自然ガイド

区内でみられる自然と生物についてパンフレット形式で紹介したもので、足立区ホームページからダウンロードができる。区内でみられる自然環境と、生物が観察できる場所の紹介、図鑑形式で区内の生物を紹介している。また、ホームページ上に、あだち自然ガイドの内容を充実させるため、区内の生物目撃情報を投稿する「あだち自然ガイド投稿編」も設けている。

### あだち・そらとつながるプロジェクト

太陽光発電システムの設置事業者を、区民にとって安心とより良いサービスを提供する店として区が認定する制度。認定された事業者を「そらとつながるお店(そらつな店)」としてホームページで紹介している。

### 足立の環境

毎年度発行している足立区の環境の現状と対策、事業概要と実績データをまとめた冊子のこと。

### 一級河川

私たちの暮らしを守り、産業を発展させるうえで特に重要なかわりを持っている河川として、国土交通大臣が指定(区間を限定)した河川のこと。

### ウォームビズ

環境省が冬の省エネ対策として推奨している、暖房時の室温を20に設定して快適に過ごすライフスタイルのこと。区の施設では暖房時の室温を19に設定している。

## 雨水浸透ます

雨水を地中に浸透させることができる設備のこと。雨水が急激に河川や下水道に流れ込むことによる洪水の防止につながる。

## エコカー

環境に配慮された自動車の総称。大気汚染物質の排出量低減等に配慮した低公害車や、電気自動車や燃料電池自動車などガソリンや軽油を燃料とする従来車と比較して、エネルギー消費量やCO2排出量等が低減されたクリーンエネルギーカーである。

## エコ活動ネットワーク足立 EANA(いな)

区内で環境活動・環境に係る活動を行う団体・事業者を対象とした登録制のネットワークで、(Eco Activity Network Adachi)の頭文字をとって略称をEANAとしている。登録団体の情報を発信・提供し、区民に団体の環境活動のお知らせや環境意識の啓発を図ることで、区の環境活動の推進を目指している。

## エコツアー

環境について学んだり、体験できる旅行のこと

## エコドライブ

やさしい発進を心がけたり、無駄なアイドリングを止める等をして燃料の節約に努め、地球温暖化に大きな影響を与える二酸化炭素の排出量を減らす「環境に配慮した自動車の使用」のこと。

## エネルギーマネジメントシステム

EMS (Energy Management System) とも呼ばれ、ITを活用して、エネルギーの使用状況をリアルタイムで見せたり、ムダなエネルギー使用を抑えるように設備機器の利用を調整するような省エネルギー技術のこと。

エネルギーマネジメントシステムのうち、家庭向けをHEMS (Home EMS)、ビル向けをBEMS (Building EMS)、マンション向けをMEMS (Mansion EMS)、工場向けをFEMS (Factory EMS)という。

また、地域内のエネルギー管理システムをCEMS (Community EMS)という。

## オキシダント

大気中の揮発性有機化合物や窒素酸化物が紫外線を受けた際、光化学反応によって発生するオゾンなどを指す。光化学スモッグの原因となり、高濃度になると粘膜や呼吸器など人体に影響を及ぼす。

## オゾン層

高度10～16kmから50kmまでの上空(成層圏)にある、大気中のオゾンの90%が集まっている層のこと。生命にとって有害な紫外線の地表に降り注ぐ量をやわらげる効果がある。人間の活動によって出されるフロンガスがオゾン層を破壊するため、対策が進められている。

## 温室効果ガス

地表から放射された赤外線の一部を吸収することにより、温室効果をもたらす大気圏にある気体の総称。温室効果

ガスにより、地球の平均気温が適温に保たれてきたが、近年、その量が増加したため、地球温暖化問題が生じている。国連気候変動枠組条約で削減の対象となっているのは、二酸化炭素、一酸化二窒素、メタンなど7種類ある。

## か行

---

### 外来種

もともとはその地域にいなかったのに、人間の活動によって、意図的・非意図的に本来の生息地・生育地の外から持ち込まれた生物種のこと。

### カーボン・オフセット

自らの活動において削減努力をしても排出されてしまう温室効果ガスの全部又は一部を、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量で埋め合わせること。

### 化石燃料

石炭、石油、天然ガスなどの地中に埋蔵されている燃料の総称。数百万年以上前の植物やプランクトンなどが地中に埋もれ、高熱、高圧などの影響を受けてきたと言われている。化石燃料を燃やすことで二酸化炭素が排出される。

### 家庭用燃料電池（エネファーム）

都市ガスやプロパンガスから取り出した水素と、空気中の酸素を化学反応させて電気と熱を発生させ、お湯をつくりながら発電するシステム。電気と熱の両方を有効利用することで、更にエネルギー効率を高めることが可能。

### 環境アセスメント

環境影響評価のこと。大規模な開発事業などを実施する際に、あらかじめその事業が環境に与える影響を予測・評価し、その内容について、住民や関係自治体などの意見を聴くとともに専門的立場からその内容を審査することにより、事業の実施において適正な環境配慮がなされるようにするための一連の手続き。

### 環境教育等による環境保全の取組に関する法律（環境教育等促進法）

環境保全活動・環境教育の一層の推進や、幅広い実践的人材づくりと活用が求められていることを踏まえ、旧法律を改正し、名称を変更の上、2012（平成24）年10月施行された法律。この法律に基づき、政府は、「環境保全活動、環境保全の意欲の増進及び環境教育並びに協働取組の推進に関する基本方針」を定めている。

### 環境整備基準

良好な都市環境の整備を促進することを目的として区が定めた基準のこと。区内で一定規模以上の宅地開発、集合住宅や大規模建築物の建築を行おうとする事業者に対し、法律で定められた申請手続きを行う前に指導及び協力を要請する内容になっている。

### 気候変動

人間の活動を要因として、地球温暖化や極端な気象の増加など、地球全体で気候が変化していくこと。

## 気候変動緩和策

温室効果ガスの排出削減や吸収量の増加などにより、大気中の温室効果ガス濃度を安定化させ、気候の変化の進行を食い止めたり、小さくする対策。

## 気候変動に関する政府間パネル（IPPC）

1988（昭和63）年に世界気象機関と国連環境計画により設立された組織で、気候変動に関する科学的な研究成果の収集、整理、評価を目的に世界各国の専門家で組織する政府間機構のこと。Intergovernmental Panel on Climate Change の略で IPCC と呼ばれる。数年おきに気候変動に関する評価報告書を発表している。

## 気候変動枠組条約

国連の下、大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させることを究極の目標とする「気候変動に関する国際連合枠組条約」のこと。1992（平成4）年に採択され、1994（平成6）年に発効した。日本は1993（平成5）年に批准している。締約国に温室効果ガスの排出・吸収目録の作成や地球温暖化対策の策定とその実施などの義務を課している。

## 気候変動枠組条約締約国会議

気候変動枠組条約に基づき、1995年から毎年開催されている国際会議のこと。

## 揮発性有機化合物（VOC）

大気中の紫外線と光化学反応を起こしてオキシダントとなり、光化学スモッグの原因にもなる物質のこと。代表的

な物質は、塗料、印刷インキ、接着剤、洗浄剤、ガソリン、シンナーなどに含まれるトルエン、キシレン、酢酸エチルなど。

## クールスポット

木陰など暑さをしのげる場所のこと。

## クールチョイス

温室効果ガスの排出量の削減目標達成に向け、政府だけでなく、事業者や国民が一致団結して展開する国民運動のこと。日本が世界に誇る省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促している。

## クールネット東京

東京都内の温暖化対策を支援している地球温暖化防止活動推進センターの名称。「地球温暖化対策の推進に関する法律」第24条に基づき、東京都地球温暖化防止活動推進センターとして指定を受け、公益財団法人東京都環境公社が運営している。

都や区市町村などと連携し、地球温暖化防止に関する普及啓発を実施しているほか、地球温暖化防止活動に対してさまざまな支援を行っている。

## クールビズ

環境省が夏の地球温暖化対策として推奨している、冷房時の室温を28℃に設定して快適に過ごす軽装などのライフスタイルのこと。冷房エネルギー節約の協力を求めている。

## グリーンイノベーション

エネルギー・環境分野において、これまでのモノ・仕組みなどに対して、全く新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起こすこと。

## グリーン購入

品物やサービスを購入するとき、まず購入の必要性を十分に考え、品質や価格、利便性、デザインだけでなく、環境への影響ができるだけ小さい製品やサービスを優先して購入すること。

国は、法律に基づき、グリーン購入が義務付けられており、区も、国の基準に沿って品物やサービスを購入するときは、特別な事情があるときを除き、グリーン購入の基準を満たすものを購入している。

## グリーン電力証書

風力、太陽光、バイオマス、水力や地熱などの再生可能エネルギーで作った電気が持つ環境価値を証書化して取引できるようにしたもの。再生可能エネルギーの普及・拡大を応援する仕組みの一つとして使われる。

## ゲリラ豪雨

局地的な大雨、集中豪雨のこと。数時間で雨量が100mm以上になるものや、数十分の短時間で、狭い範囲に数十mm程度の雨量をもたらすこともある。

## 建築紛争予防条例

中高層建築物の建築に伴って生ずる日照、通風、採光の障害、風害、電波障

害、プライバシーの侵害等や、工事中の騒音、振動、工事車両による交通問題等の周辺的生活環境に及ぼす影響に関する近隣関係住民と建築主との間の紛争に対して、迅速かつ適正な解決を図るために1979（昭和54）年3月に制定された条例。

## 光化学スモッグ

自動車や工場などから排出される大気中の窒素酸化物や炭化水素などが太陽光線を受けて、光化学反応を起こし発生するもので、目やのどに刺激を与え、健康被害が出ることもある。

## 固定価格買取制度

太陽光・風力・3万kW未満の水力・地熱・バイオマスを用いて発電された電気を国が定める価格で一定期間電気事業者が買い取ることを義務付ける制度のこと。電気事業者が買取りに要した費用は、電気料金の一部として、国民が負担する再エネ賦課金によって賄われる。

## ごみ屋敷

敷地内からあふれ出たごみの悪臭等により、近隣住民の生活環境に多大な影響を及ぼすような状態にある土地・建物のこと。足立区では「足立区生活環境保全に関する条例」に基づき、対策を行っている。

## コンポスト容器

家庭から出る生ごみを土の中の微生物の働きなどで分解し、堆肥に変えるための容器のこと。

### 災害廃棄物

地震や津波等の災害によって発生する廃棄物のこと。

### 再生可能エネルギー

永続的に利用することができるエネルギー源の総称。具体的には、太陽エネルギー、風力、水力、地熱、バイオマスなどがある。

### サステナビリティ

英語では持続可能性を意味する。広く環境・社会・経済の3つの観点からこの世の中を持続可能にしていくという考え方のこと。

### 資源ごみ買取市

家庭から出る資源を買取市の開催日に直接持ち込み、事業者が市況に応じて買い取る制度。区が、区内リサイクル関連事業者との協働で実施している。

### 樹木被覆率

樹木・竹類・樹林で覆われた「樹木被覆地」が、ある土地の面積に占める面積の割合のこと。

### 循環型社会

生産から流通、消費、廃棄に至るまで物質の効率的な利用やリサイクルを進めることにより、資源の消費が抑制され、環境への負荷が少ない社会のこと。大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会に代わるものとして提示された概念である。

### 循環型社会形成推進基本法

循環型社会の形成について、基本原則、関係主体の責務を定めるとともに、基本計画の策定や循環型社会の形成に関する施策の基本となる事項などを規定した法律のこと。2000（平成12）年に施行された。

### 省エネ診断

クールネット東京が実施している省エネ効果を高める運用対策を指導する事業のこと。エネルギー管理の専門的知識を持つ診断員が事業所を訪問してエネルギー使用状況を診断する。光熱費の削減や業務効率の改善、地球温暖化対策にもつながる。

### 食品ロス

まだ食べられるのに捨てられている食べ物のこと。

### 自立型街路灯

災害時や停電時も利用できる太陽光エネルギーを用いた街路灯のこと。

### 侵略的外来種

外来種の中で、地域の自然環境に大きな影響を与え、生物多様性を脅かすおそれのあるもの。

### 水素エネルギー

利用段階で二酸化炭素を排出しないエネルギーであり、化石燃料だけでなく再生可能エネルギーからも製造することができる。燃料電池で自動車や熱の利用、発電などに利用できる。

## スマートメーター

電力を計測するとともに通信機能を持たせ、電気使用状況の見える化を可能にする電力量計のこと。今後、すべての電力量計がスマートメーターに置き換わる予定である。これにより、発送電が効率的に行われるようになり、社会全体の省エネ化への寄与が期待されている。

## 生物多様性基本法

2008（平成20）年に施行された野生生物や生息環境、生態系全体のつながりを含めて保全する目的を持つ法律。

## 生物多様性国家戦略 2012-2020

生物多様性条約第6条に基づき、条約締約国が作成する生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する国の基本的な計画のことで、1995（平成7）年に第一次戦略が策定された。現在の生物多様性国家戦略 2012-2020 は、2012（平成24）年に閣議決定された。

## 生物多様性条約

国連の下、生物の多様性の保全、その構成要素の持続可能な利用及び遺伝資源の利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分を目的とする「生物の多様性に関する条約」のこと。1992（平成4）年5月に採択され、日本は1993（平成5）年に批准している。

## そらつな制度

「あだち・そらとつながるプロジェクト」を参照。

## た行

---

### ダイオキシン類

主に物が燃焼することにより発生し、大気中に拡散するほか、過去に使用されていた農薬の不純物としても拡散された。環境中に広く存在しており、その量は非常に微量だが、微量でも強い毒性を持つと考えられている。ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、対策が進められている。

### 地球温暖化対策の推進に関する法律（地球温暖化対策推進法）

地球温暖化対策を推進するための法律。1998（平成10）年に制定され、何回かの改正を経ている。政府が定める地球温暖化対策計画や、国民の取組を強化するための措置、温室効果ガスを一定量以上排出する者に温室効果ガスの排出量を算定して国に報告することを義務付けなどについて定めている。

### 地区環境整備計画

都市計画マスタープランにおける土地利用やまちづくりを実現するため、地区レベルの土地利用の方針・地区施設等の整備方針を明らかにしたもの。

### 中水

飲むことはできないが人体に影響を及ぼさない形で再利用される水のこと。水洗トイレや工業用水などに利用され、雨水や雑排水など原水となる。

### 低炭素エネルギー

二酸化炭素の排出が少ないエネルギーのこと。

### 適応策

気温や海水面の上昇など気候変動に伴う影響に対して、人や社会、経済のシステムを調節することで影響を軽減する対策のこと。一般的には、洪水や高潮を防ぐ堤防や防潮堤の構築、農作物の品種改良、熱中症対策、伝染病の予防などがある。

### 電気自動車

電気でモーターを回転させることで駆動する自動車のこと。排ガスを発生しない低環境負荷型の自動車として普及拡大が期待されている。略称は、EV (Electric Vehicle)。

### 天然資源

天然に存在して、人間の生活や生産活動に利用しうる物資・エネルギーの総称。土地・水・埋蔵鉱物・森林・水産生物など。

### 特別緑地保全地域

都市における良好な自然的環境となる緑地において、建築行為など一定の行為の制限などにより現状凍結的に保全する制度。これにより豊かな緑を将来に継承することができる。都市緑地法、首都圏近郊緑地保全法、近畿圏の保全区域の整備に関する法律に規定されている。

な行

---

名古屋議定書

2010(平成22)年10月に名古屋市で開催された生物多様性条約第10回締約国会議で採決された議定書で、医薬品や食料品の開発につながる遺伝資源により生じた利益を国際的に公平に配分することを目的としている。

### 夏休み子どもエコプロジェクト

区内全小学校の5年生を対象に、地球環境問題を身近なものとして学習し、家庭での省エネの実践を目的として進める事業。

### 日照阻害

建築物や高架道路や鉄道の高架橋などによる日陰がもたらす環境悪化現象のこと。

### 燃料電池自動車

燃料電池で水素と酸素の化学反応によって発電した電気エネルギーを使って、モーターを回して走る自動車。従来の自動車に比べて排出ガスが少なく、高いエネルギー効率が期待できる。略称は、FCV(Fuel Cell Vehicle)普及に向けて、水素を供給する水素ステーションの整備が課題になっている。

### ノンフロン

オゾン層を破壊するフロンを使わない技術や製品のことを指す。国の行政機関には原則としてノンフロン製品の使用が義務付けられている。

は行

---

排出係数



燃料、熱及び電気の使用量等から温室効果ガスの排出量を換算するために用いられる数値のこと。使用量に排出係数を乗じることで排出量が算定できる。

### ハイブリッド自動車

2つ以上の動力源を持つ自動車。略称はHV(Hybrid Vehicle)。一般的にはエンジンとモーターを動力源として備えたHEV(hybrid electric vehicle)を指すことが多い。

### 花いっぱい運動

花を通じて人々の気持ちを豊かにとの願いを込め、1952(昭和27)年長野県松本市で始まった運動で、現在では全国に広がっている。足立区ではビューティフル・ウインドウズ運動の一環として展開し、まちを美しく彩ることを目的として、多くの人が学校や地域で花を植えてまた、花壇の育成を通じて地域コミュニティの活性化やまちのイメージアップ、に繋げると共に、花の世話をする人の姿で犯罪の抑止を図っている。

### ヒートアイランド現象

都市の気温が郊外よりも高くなる現象のこと。気温の分布図を描くと、高温域が都市を中心に島のような形状に分布することからこのように呼ばれる。

### ビューティフル・ウインドウズ運動

足立区で実施している地域や警察、関係団体と連携し、一丸となって犯罪のない美しい住みよいまちをめざす運動のこと。

ニューヨーク市の「割れ窓理論(ブローケン・ウインドウズ)を参考に、美

しい街を印象づけることで犯罪を抑止する運動である。

### フードドライブ

イベントとして家庭で余っている食品を集めて、福祉施設にそれらを寄付すること。

### フードバンク

日常的に主に企業などから余っている食品を集めて、定期的に福祉施設に無償分配する活動・団体のこと。

### 浮遊粒子状物質

大気中に浮遊する粒子状の物質(浮遊粉じん、エアロゾルなど)のうち、粒径が $10\mu\text{m}$ (マイクロメートル： $\mu\text{m}=100$ 万分の $1\text{m}$ )以下のものをいう。SPM(Suspended Particulate Matter)ともいい、特に粒径が $2.5\mu\text{m}$ 以下の微小粒子状物質のことをPM2.5という。

### プラグインハイブリッド自動車

家庭用電源での充電を可能とするタイプのハイブリッド自動車。基本走行時は電気を動力として燃費を向上させ、長距離走行時は、補助用動力としてガソリンエンジンを使用する。電気自動車としても使用できるため、ハイブリッド自動車に比べてランニングコストを低減できる。

### 保存樹木・樹林

足立区緑の保護育成条例施行規則により指定されるもので、「樹木の高さ10メートル以上、地上1.2メートルにおける幹周りが1.5メートル以上」のも

のが保存樹木、「樹木の一集団が占める土地の面積が 300 m<sup>2</sup>以上」のものが保全樹林である。所有者または管理者の申請に基づき指定され、足立区保存樹木・樹林補助金交付事務処理要綱に基づき支援を行っている。

## ま行

---

### 未利用エネルギー

利用されていないが、エネルギーとして活用できる可能性のあるもの。具体的には、河川水の熱、工場の排熱などが挙げられる。

### 緑のカーテン

ゴーヤやアサガオなどのツル性の植物を、窓の外や壁面に張ったネットなどに這わせて、カーテンのように覆うこと。自然の力を利用し、夏場の空調負荷を減らし、省エネルギー対策につながる。

## ら行

---

### リサイクル

ごみを資源として再び利用すること。

### リデュース

物を大切に使いごみを減らすこと。

### リユース

使えるものはくり返し使うこと。

### 屋敷林

屋敷の周囲に防風や防火のために植えた樹林のこと。

## わ行

---

### ワンルーム条例

ワンルームマンション等の建築及び管理に関し基本的事項を定めることにより、ワンルームマンション等の建築に起因する紛争の防止を図るとともに、地域における生活環境及び居住環境の向上を図り、もって良好な近隣関係を形成することを目的とした条例。

## 数字・アルファベット

---

### 3 R (スリーアール)

リデュース(Reduce)、リユース(Reuse)、リサイクル(Recycle)の総称。リデュースとは物を大切に使いごみを減らすこと、リユースとは使えるものはくり返し使うこと、リサイクルとはごみを資源として再び利用することである。

### A B S

遺伝資源の取得と利益配分のことで、Access and Benefit-Sharingの略。遺伝資源を利用して、医薬品や食料品、化粧品などが開発されている現代社会において、遺伝資源が存在する国や先住民に利益を還元する仕組み。

### B E M S

ビルのエネルギーマネジメントシステムのこと。(Building and Energy Management System)

IT 技術を活用し、ビル全体の電力使用量をきめ細かく計測・蓄積し、エネルギー管理を支援するシステムのこと。

## HEMS

家庭のエネルギーマネジメントシステムのこと。(Home Energy Management System)

IT 技術を活用し、家電製品ごと、部屋ごとなど電力使用量をきめ細かく計測・蓄積し、リアルタイムで表示する「見える化」を図り、家庭におけるエネルギー管理を支援するシステムのこと。

## LED

発光ダイオードを使用した照明器具のことで、Light Emitting Diode の略。白熱灯や蛍光灯に比べ、長寿命で電力消費も少ない。従来の照明具に比べて配光制御にすぐれ、光の利用効率が高められるのが特長。点滅や調光も容易で、LED 照明の普及によって照明分野における省エネルギーが加速度的に進むことが期待されている。

## NPO

民間非営利組織のことで、Non Profit Organization の略。様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し収益を分配することを目的としない団体の総称である。収益を目的とする事業を行うこと自体は認められるが、事業で得た収益は、様々な社会貢献活動に充てられることになる。

## PM2.5

大気中に浮遊する粒子状物質のうちでも特に粒径の小さいものを指す。(粒径 2.5 μm 以下の微小粒子状物質)

## Rのお店

ごみ減量やリサイクルを積極的に推進している小売店を「R (リサイクル) のお店」として登録・公表している。

## SNS

「ソーシャル・ネットワーキング・サービス」の略で、人と人とのつながりを促進・支援する Web サイトおよびネットサービスのこと。具体的には Twitter や Facebook が挙げられる。



